

各位

私立大学環境保全協議会
会長 菅原 義之

第42回総会・研修研究会開催について(ご案内)

厳冬の候、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

早速ではございますが、本協議会第42回総会・研修研究会を、日本工業大学様のご協力をいただきまして、下記のとおり開催致したくご案内申し上げます。

今回も充実した講演とグループ討議で皆様をお待ちしておりますので、是非とも多くの方のご参加をお願いする次第でございます。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、何卒、当協議会の重要性をご斟酌賜り、適任者の方にご出席いただきますようお願い申し上げます。

記

日時：2026年 3月 12日(木) 13:00~19:00 (受付12:00~)
3月 13日(金) 9:30~13:40

会場：日本工業大学 埼玉キャンパス 5号館 ほか

参加費：

区分別参加費(非課税)

区分	参加費(情報交換会参加費含む)
会員校 教職員	10,000円
会員校 学生	無料
賛助会員	10,000円
大環協会員	10,000円
オブザーバー(上記以外の区分)	12,000円

申込方法：申し込みフォーム <https://forms.gle/s5GoX7PRn5Cy62ZRA> (右記QRコード)から
2月13日(金)までに1名ずつお申し込みのうえ、
2月27日(金)までに区分に応じた参加費をお振込みください。



なお、2月13日(金)以降の参加取り消しにつきましては返金いたしかねます。

※申し込み方法ならびに参加費振込口座等の詳細につきましては本誌資料をご覧いただくとともに、最新の情報は私立大学環境保全協議会ホームページ (<https://shidaikankyo.jp/>) をご参照ください。

本誌資料 1. 第42回総会・研修研究会プログラム 2. キャンパス見学会のご案内
3. 賛助会員デモ展示について 4. 参加申し込みについて

★総会委任状について

貴学・貴社からどなたも総会にご出席いただけない場合には、以下のフォームより「委任状」をご提出ください。

※総会は会員の3分の1以上の出席(委任状を含む)をもって成立します。(会則第16条)

<https://forms.gle/SjpPt7KmhZMurQGa7>

【お問い合わせ連絡先】

私立大学環境保全協議会事務局

jimukyoku@shidaikankyo.jp



以上

第42回総会・研修研究会プログラム

(主催：私立大学環境保全協議会、共催：日本工業大学)

日時

【第1日】2026年3月12日(木)

総会	13:00～13:30
講演会	13:30～15:40
グループ討議	16:00～17:20
情報交換会	17:30～19:00

【第2日】2026年3月13日(金)

グループ討議	9:30～11:10
講演会	11:30～12:30
キャンパス見学会	12:40～13:40

※今回より講演会は、対面開催および後日録画配信のみとなり、ライブ配信は行いませんのでご了承下さい。

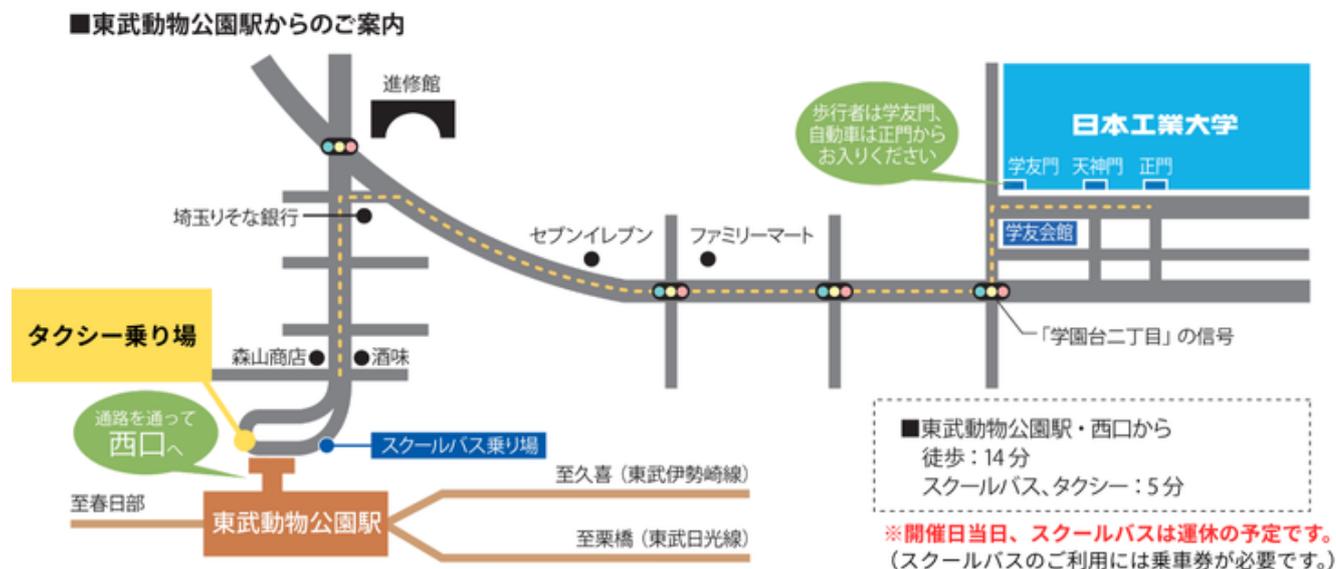
会場 日本工業大学 埼玉キャンパス (〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1)

TEL：0480-34-4111(代表番号)、0480-33-7486(NIT-EMS 本部)

《アクセス》東武スカイツリーライン(伊勢崎線)・日光線、東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通

「東武動物公園」駅西口より徒歩14分、またはタクシー乗車5分

※開催日当日、スクールバスは運休の予定です。徒歩での来校に支障がある場合は、申込時に事務局までご相談ください。

日本工業大学 埼玉キャンパス
交通アクセス東武動物公園駅～大学正門
徒歩ルート案内

主要会場

- ・総会・講演会場：5号館 203教室（300人収容）
- ・グループ討議会場：5号館 301・302・401・402・501・502・601・602教室（各100人収容）
- ・情報交換会会場：S3棟「ダイニングホール」

昼食利用可能

- ・S3棟「ダイニングホール」、LCセンター「アルテリーベ」
 - ・5号館1階 購買部（10時～14時）
- 近隣にコンビニエンスストア（ローソン）もあり（正門より徒歩3分）



参加費

研修研究会 区分別参加費（非課税）

区分	参加費（情報交換会参加費含む）
会員校 教職員	10,000 円
会員校 学生	無料
賛助会員	10,000 円
大環協会員	10,000 円
オブザーバー（上記以外の区分）	12,000 円

【参加費振込先】三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店

（普）3688955

シリツダイガクカンキョウホゼンキョウギカイ オシオ ヒロシ

3月12日(木)

≪総会≫ 13:00～13:30

会場：5号館 203教室

≪研修研究会≫

会場：5号館 203教室

1. 開会挨拶 13:30～13:40 私立大学環境保全協議会 会長 菅原 義之
2. 開催校挨拶 13:40～13:50 日本工業大学 学長 竹内 貞雄
3. 特別講演 13:50～14:40 (50分間)

「自然環境と社会情勢が激変する時代の食と農 —工学との融合による新たな農業—」

日本工業大学 基幹工学部電気情報工学科教授 平栗 健史

自然環境の変動や社会情勢の変化により、農業は不確実性、担い手不足、そして食糧需給の不安定化に直面しています。本講演では、植物の生育現象という農学的知見を基盤に、工業大学発のスマート農業センターとして工学的アプローチを統合し、完全自動化農業を目指す研究と課題への取り組みを紹介いたします。ドローン受粉や環境計測などの事例を通じ、工学との融合が食と農の持続性にどのような展望をもたらすのかを示します。

◇ 休憩(10分)・デモ展示見学 ◇

4. 研修講演 14:50～15:40 (50分間)

「日本工業大学の環境への取り組み—大学と学生と地域と—」

日本工業大学 共通教育学群教授 佐藤杉弥・学生環境推進委員会メンバー

日本工業大学では、Clean Green Eco Campus の標語の下で、荒地からのキャンパス整備からスタートし、2001年にはISO14001認証を受け17年継続の後に、NIT-EMSとして自己宣言して現在に至ります。EMS構築と相次いで学生の環境推進委員会も誕生、環境系の授業も整備し、地域との協働も数多く行ってきました。派手な活動はありませんが、この機会に環境への取り組みの全体像を、大学と学生の立場からご紹介いたします。

◇ デモ展示見学・移動(20分) ◇

5. グループ討議 16:00～17:20 (80分間)
会場：5号館 301・302・401・402・501・502・601・602教室

※Ⅰ～Ⅲグループから一つ選択してご参加ください。

Ⅰ：教育と連携「SDGs実現のための地域と大学との協働と連携 —日本工業大学の事例—」

SDGs実現とそのための環境保全や、学生による地域連携活動について日本工業大学 環境生命化学科教授 伴雅人先生にご紹介いただきます。ご講演のテーマは「SDGs for Engineers(SfE)の活動」です。SfEは学内の工房教育(カレッジマイスタープログラム)の1つで、学生が主体となる活動です。ご講演をもとに、大学・学生・地域の連携のあり方についてご参加の皆様と活発な議論

をしたいと考えています。

Ⅱ：化学物質「昨今の化学物質規制体系に向けた対応について」

これまでのグループ討議と同様に、化学物質管理体系の見直しについて、複数のグループに分かれて、テーマに応じた意見交換などを行います。また、東京理科大学におけるキャンパス移転にかかる化学物質管理の取組み事例紹介も予定しています。

- Ⅱ-A：化学物質 法改正概要（基礎的内容）
- Ⅱ-B：化学物質 アセスメントの実務について
- Ⅱ-C：化学物質 管理体制
- Ⅱ-D：化学物質 ばく露軽減措置
- Ⅱ-E：化学物質 安全教育
- Ⅱ-F：化学物質 実験系廃棄物管理

グループ内事例紹介

「(仮題) 東京理科大学における薬学部移転対応について」

東京理科大学 管財部 野田管財課 環境安全管理室
西座 智佐子

Ⅲ：施設・設備「議論はキャンパスをどう変えたか？各大学における施設計画・環境改善の具体例とその効果」

本グループ討議では、実務事例から最新技術、行政の動向まで、5名の皆様にご紹介いただきます。まず、今回の開催校である日本工業大学様の省エネルギー実践事例として、施設環境管理課の国松様より「日本工業大学の省エネ対策状況」を、続いてLCセンター（図書館）の中村様より「LCセンター（図書館）の省エネ大賞『省エネルギーセンター会長賞』受賞について」をご紹介いただきます。

次に、民間企業および行政の視点から、シー・エイチ・シー・システム（株）の渋谷様より「室内空気質と計測センサ技術の重要性」、文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部 施設企画課の外崎様より「学校等における省エネルギーの取組について」として、それぞれの知見をご講演いただきます。

最後に、大学の事例として、東海大学 学長室施設設備担当の住野様より「東海大学札幌キャンパスにおける ZEB Ready 取得への取り組みと既存改修における工事費低減策について」をご紹介いただきます。なお、それぞれのパートで質疑応答の時間を設けております。

◇ 移動(10分) ◇

6. 情報交換会

17:30～19:00

会場：S3 棟(ダイニングホール)

日本工業大学エコキャンパスツアー

■キャンパス見学ツアー詳細

1. 日時 : 2026年3月13日(金) 12時40分~13時40分
2. 集合場所 : 5号館1階学生プラザ
3. 見学内容

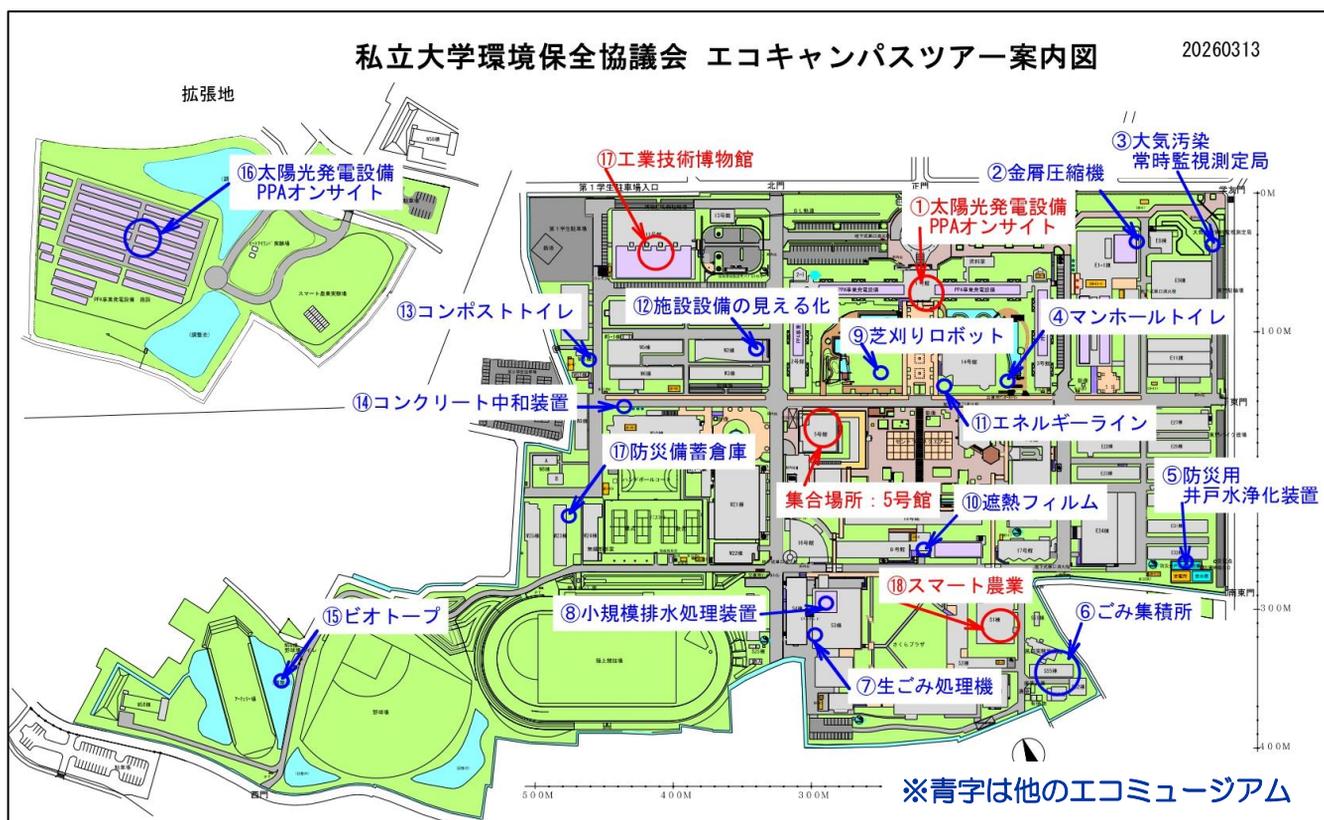
日本工業大学の埼玉キャンパスは埼玉県南東部の宮代町に位置し、東京ドーム約6個分(25万㎡)に相当する広大な敷地を誇り、講義棟や実験棟、図書館、体育施設、工業技術博物館など、充実した教育・研究環境が整っています。学部・大学院を合わせて約4,000名の学生が実工学を学び、活気にあふれています。

埼玉キャンパスでは、環境施設及び設備を「エコミュージアム」と称し、キャンパス全体を「環境博物館」として、自然と最先端技術を融合した学びと体験の場を実現しています。この「エコミュージアム」は、学内外の方が「見て学び、体験する」ことで、環境への理解と意識向上を目指す実践教育の場です。キャンパスを歩きながら、日常的に環境技術や防災設備に直に触れることで、持続可能な社会を築く知識と感性が育まれる、まさに「キャンパスまるごと環境博物館」と言えます。

4. 見学コース

⑰工業技術博物館 ⇒ ①太陽光発電設備PPAオンサイト ⇒ ⑱スマート農業

詳細は、下記のエコキャンパスツアー案内図をご参照ください。



デモ展示のご案内

賛助会員の皆様に、第 42 回総会・研修研究会に参加する会員・役員・オブザーバーの方々に向けたPR機会のご提供をご用意いたしました。

申し込み方法をご確認の上、下記の通りお申し込みください。

各社 1 名以上の研修研究会ご参加申し込みがあり、ご参加いただく方の参加費をお支払いいただいている場合に、追加料金なしでデモ展示を行うことができます。

スペースの都合上、先着 6 社までの受付となります。

1 申込方法

研修研究会申し込みサイトで、「デモ展示」項目の「出展を希望する」をご選択ください。

2 展示の詳細について

日本工業大学様のご協力を得て 1 社あたり次の物品をご用意いたします。

机 (65cmW×65cmD) 3 個、椅子 2 脚、A3 サイズパネル立て 1 個、コンセント

※コンセントは配置によってご用意できない可能性がございます。ご希望の際は、事務局への連絡事項に記載ください。

会場では、学内 Wifi をご利用いただけますが、必要に応じて各自ご用意ください。

必要に応じて、電源、延長コード、テーブルタップ等をご用意ください。

(開梱・梱包ならびに物品運搬はご自身にてお願いいたします。)

盗難、破損、故障に関しては、開催校及び当協議会は一切責任を負いません。

【参加者の見学時間】

3 月 12 日 (木) 開始前の受付時間 12 時 00 分～13 時 00 分 ※設営はなるべく 12 時 00 分までをお願いいたします。
休憩時間 14 時 40 分～50 分、15 時 40 分～16 時 00 分

情報交換会場において、パンフレットなどの設置を希望される際はお申し出ください。

3 月 13 日 (金) 休憩時間 11 時 10 分～11 時 30 分 グループ討議参加者が講演会場に移動します

3 搬入・搬出について ※各出展者様の責任において、ご都合に合わせて搬入・搬出をお願いいたします。

[搬入] 次のいずれかの方法で搬入をお願いする予定です。

- ①前日 3 月 11 日(水)午後着の宅配便 (開催校受け取り)
- ②当日 3 月 12 日(木)午前着の宅配便 (ご自身で受け取り)
- ③当日 3 月 12 日(木)に自社で搬入 (車両搬入をご希望する場合は別途事務局までご相談ください)

[搬出] 3 月 13 日 (金) 15 時までに撤収をお願いする予定です。

搬出は、自社でお手配いただくか、「ゆうパックの着払い」の場合は事務局がまとめて発送いたします。

※出展申し込みの方には、2 月下旬に改めて出展に関するご案内と貼付伝票をお送りいたします。

デモ展示および受付イメージ

※事務局にて展示場所を決めさせていただきますので、ご了承ください。

講演会場となる5号館2階203教室への動線となるラーニングセンター入口に受付、壁際の通路にデモ展示を設ける予定です。受付では、飲料の提供を検討しています。



ご不明な点等ございましたら、事務局 宮野 jimukyoku@shidaikankyo.jp までメールでお問い合わせください。

以上

【参加申込みについて】

◆参加申込みから開催当日までの流れ

【 申込み締め切り 2月13日(金) 】

申し込みサイトから参加申込み
(グーグルフォームに飛びます)

※ご参加者お一人ずつ、お申込みをお願いいたします。

研修研究会(講演・グループ討議)・情報交換会・キャンパス見学 のいずれかに参加される方

参加費の振り込み(銀行)

【 振込締め切り 2月27日(金) 】

入金が間に合わない場合は、入金予定日を事務局までご連絡ください。

- ※ 恐れ入りますが振込手数料のご負担をお願いします
- ※ 【振込先】三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店
(普) 3 6 8 8 9 5 5
シリツダイガクカンキョウホゼンキョウギカイ オシオ ヒロシ
- ※ 講演・グループ討議・情報交換会・キャンパス見学会のいずれか1つ以上のコンテンツに参加・視聴する場合、参加費が必要です。
- ※ 2月13日以降の参加取り消しの場合、返金はできません。
- ※ 請求書・領収書の発行をご希望の場合、
押印付き PDF を登録されたメールアドレスに送付いたします。
- ※ 領収書発行は、研修研究会開催後になります。
- ※ 会員校に在籍する学生の方は無料で参加することができます。ご一緒に参加いただける教職員の方のお名前を「紹介者」欄に必ずご入力ください。

参加費納入確認

グループ討議の事前配布資料を、ご登録メールアドレスに配信
(該当者のみ、3月5日頃を予定)講演会の資料をご登録メールアドレスに配信
(3月6日頃を予定)

参加にあたり、特別な配慮を希望される方は、申込時にご希望の内容をお知らせください。
事前にご相談のうえ、できる限りの対応をさせていただきます。

※会場では資料配布を行いませんので、必要に応じてご持参ください。